



三方原地区社会福祉協議会 創立20周年記念大会

令和7年2月8日 於 浜松市教育会館 大ホール

三方原地区社会福祉協議会のこれから

三方原地区社会福祉協議会は、今年2月15日に創立20周年を迎え、去る2月8日に浜松市教育会館において中野浜松市長ご臨席の下「三方原地区社会福祉協議会創立20周年記念大会」を開催しました。当初零からスタートし、20年の間に大きな成長を遂げ現在に至っています。

家事支援事業に移動支援事業が加わり、活動に大きな広がりを見せる生活支援部会、福祉交流部会は、これまでのふれあい交流会に加えサロン活動、スマホ教室、歌声広場と、これも拡大傾向です。更に、地道に活動して来ている相談室部会や年少者及びその家族を支援する子育て支援部会も、事業の一部では利用者や参加者の要望の変化に対応しつつ進めていく必要があります。又、コロナ禍で縮小してしまった事やできなかった事を、もう一度見直してやり直す必要があります。

今までの「第1次地域福祉活動計画」も令和6年度で終了し、令和7年度からは「第2次地域福祉活動計画」がスタートします。地域としてやりたい事、課題は今でもいくつかありますが、何をするにも環境づくりと人材確保が必要です。焦らず少しずつ進めて行きたいと思います。

三方原地区社協
会長 富永 厚平浜松市長
中野 祐介 氏浜松市社会福祉協議会
会長 寺田 賢次 氏

来賓の皆様



三方原地区社協役員



会場風景



受付

三方原地区社協創立20周年を迎えて

かつてJR福知山線の脱線事故がありました。死者107人、重軽傷者562人という大惨事のあった年が、当地区社協の設立した今から20年前になります。今にして思えば、組織としても活動にしても幼かった設立当時のことがかえって懐かしく思われます。経験が少なれば幼さはあって当然のことですが、当時は先進地区社協の状況を見聞きしては「自分たちの所はまだだ！」との劣等感のようなものを感じたものでした。個人的な思いの中で、地区社協としても自分自身にしても大きな転換期とはっきり感じたのが、平成26年10月からスタートした「家事支援事業」の開始でした。8か月間しっかりと準備して自信をもってスタートした事業が、開始直後からこの事業を心待ちにしていた多くの利用者からの依頼を37名の協力員が生き生きと引き受けて活動したことが目に浮かんできます。結果を見れば、第1期(10月～2月)の5か月間で34人に対して195回の支援回数を数えていました。



三方原地区社協
相談役 小倉 一夫

講演「社協20年のあゆみ」



小倉相談役の説明



講演風景



感謝状贈呈



三方原地区社協の沿革



三遊亭可風師匠

落語会



本 号 の 内 容

一面▶三方原地区社協創立20周年記念大会

二面▶三方原地区社協創立20周年記念大会

二面▶本号の内容

三面▶飛び出し坊や大作品展

三面▶三方原地区安全安心まちづくり協議会 会長 鈴木登志郎

三面▶初生、三方原、豊岡、各小学校校長

三面▶民生委員児童委員交代のお知らせ

四面▶三方原協働センターまつり

四面▶編集後記

飛び出し坊や大作品展

浜松いわた信用金庫三方原支店ギャラリーポテト
令和7年1月7日～1月13日開催

三方原地区安全安心まちづくり協議会主催

「飛び出し坊や」のデザインと今後の展開

みなさんは「飛び出し坊や」をご存じでしょうか。ドライバーへの注意喚起のために通学路などに設置されている看板（道路に飛び出す児童の姿など）のことです。当地区でも多数設置されていますが、老朽化したものも多く、野中和佳菜さん（初生町）の発案をもとに、当協議会の事業として看板の付け替え、新設を計画しました。交通安全に対する子ども達の願いを盛り込めるように、地区内の3小学校（初生、三方原、豊岡）のご協力をいただいて看板デザインを募集し、約140点の応募があり、作品展の様子は静岡新聞でも取り上げられました。優秀な作品のデザインをベースに、三方原地区独自の「飛び出し坊や」看板を作製し、地区内での付け替え、新設を予定しています。

三方原地区安全安心まちづくり協議会 会長 鈴木 登志郎

受賞作品と子ども達



日頃から子ども達への、温かい見守りをしていただき、本当にありがとうございます。学区内には幹線道路をはじめ、通学時間帯には多くの車が行き来する箇所が多くあります。こうした作品展を通じて、子ども達、そしてドライバーの方々の安全への意識が、より向上することを願っています。

初生小学校 校長 村松 健史



子どもの安全を願い、地域が一丸となって取り組む姿勢に、三方原地区のつながりの深さを感じました。また大作品展に子ども達が参加させていただいたことは、次の世代にもつながる有意義な活動だと思いました。これからも地域にある学校として、三方原地区の活性化に力を尽くしてまいります。

三方原小学校 校長 伊藤 孝明

子ども達は、安全な行動について知識はありますが、学年が上がるにつれて、行動が伴わなくなる傾向がみられます。今回の大作品展の取り組みは、この傾向対策につながると共に、学校・家庭・地域の連携を更に深めるための第1歩だと思います。素晴らしい企画を計画いただき、ありがとうございました。

豊岡小学校 校長 泉澤 伸広



民生委員児童委員 交代のお知らせ

初生・三方原地区
民生委員児童委員協議会

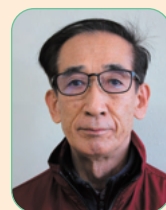
なが や て る の ぶ
長屋 照 伸 氏

担当地区：初生町北第一

連絡先：TEL090-9318-7286

前任者：濱田 明美 氏

令和6年12月1日付



三方原地区社協
QRコード



2024年三方原協働センターまつり

12月8日(日)に「三方原協働センターまつり」を開催しました。まつりのメインは、当センターで活動する地域活動団体等の日頃の成果を発表する演技発表や作品展示でしたが、当日は、食品バザーや多くの出店、工作体験や餅つき大会、さらには古本市や富用品市と盛りだくさんのイベントが企画されました。今回も地区社協の皆様が事前準備から当日のイベント運営、片付けに至るまでまつり全般に亘って支えてくださり、例年にも増して大盛況で正に「地域に根差した協働センターまつり」となりました。センターまつりにご参加、ご協力いただきましたすべての皆様方に厚く御礼申し上げます。



三方原協働センター
所長 澤木 克彦

演芸会場



リース作り



フランクフルト販売



輪投げコーナー



けん玉教室



バルーンアート



チャレンジコーナー



餅つき大会



編集後記 🍷 地区社協創立20周年記念大会が開催され、これまでの経緯や活動内容を改めて知ることができました。私は昨年4月に民生委員となり地区社協の活動に参加するようになったのですが、地区社協のみなさんの熱心さや、この地域のみなさんの優しさや思いやりを感じる事が度々あります。これからも、いろいろな立場や状況にある方々にとって暮らしやすい地域として発展していくことを願います。

～ 広報部会 塩入 昌 ～